愛知東邦大学　シラバス

開講年度(Year)	2023年度	開講期(Semester)	後期
授業科目名(Course name)	子ども家庭支援論		
担当者(Instructors)	松本 亜香里	配当年次(Dividend year)	3
単位数(Credits)	2	必修・選択(Required / selection)	選択

■授業の目的と概要(Course purpose/outline)

急速に少子化が進行し、また、結婚・出産・子育ての希望がかなえられない現状がある。さらに、子どもや子育てを取り巻く環境も大きく変化してきているが、子ども・子育て支援が質・量ともにまだまだ不足している。そこで、家庭支援の意義と役割、家庭生活を取り巻く社会的状況、子育て家庭の支援体制と多様な支援の展開と関係機関との連携について理解する。

■授業形態・授業の方法(Class form)

授業形態(Class form)	講義
授業の方法(Class method)	講義形式を中心に、授業の内容に応じて課題のディスカッション、グループワークを取り入れる。授業後は、課題をとおして自分なりに考察することで、より家庭支援についての理解を深める。

■各回のテーマとその内容(Each theme and its contents)

回数(Num)	テーマ(Theme)	内容(Contents)	メディア区分(Media)
第1回	子どもと家庭の意義と役割	子どもにとって家庭がどのような意義があり役割を果たしているのか理解する。	□
第2回	子育てを取り巻く社会状況	子育てを取り巻く社会の変容と現状について理解する。	□
第3回	子育て家庭が抱える課題	子育て家庭の様々な問題や課題について学ぶ。	□
第4回	子ども家庭支援の基本的な考え方	子育て家庭への基本的な支援の考え方を理解する。	□
第5回	子育て家庭を支える制度および社会資源	子育て家庭を支える制度と社会資源はどのようなものがあるのか学ぶ。	□
第6回	保育の専門性を生かした支援 保育者に求められる基本的態度	専門職としての保育者の支援方法や基本的な態度について理解する。	□
第7回	相談場面での基本的技術	子育て相談の場面における基本的姿勢や技術について学ぶ。	□
第8回	保育者が行う子ども家庭支援の実際	保育者が行う家庭支援の実際について学び、支援の必要性を理解する。	□
第9回	地域の子ども家庭支援	地域で行われている子ども・子育て支援を学ぶ。	□
第10回	さまざまな子ども家庭の理解と支援	さまざまな状況に置かれる子ども家庭の理解とその支援について学ぶ。	□
第11回	不適切な養育環境の子どもやその家庭への支援	子どもにとって不適切と思われる養育環境に置かれる家庭への支援について学ぶ。	□
第12回	子どもの貧困の理解と家庭への支援	子どもの貧困への理解と、その家庭への支援を学ぶ。	□
第13回	保育が子ども家庭支援に果たす役割	保育施設での保育が子ども家庭支援に果たす役割を理解する。	□
第14回	子ども家庭支援に関する状況と課題	子ども家庭支援に関する状況を学び、課題を理解する。	□
第15回	まとめ	14回目までの学習内容を振り返り、保育の専門性を活かした子ども家庭支援の意義と基本および支援の体制とニーズに応じた多様な支援の展開について説明できるようにする。	□

■授業時間外学習（予習・復習）の内容(Preparation/review details)

事前学習として、次回の講義内容ならびに関連するキーワードについて調べておくこと（２時間程度）。事後学習として、授業の振り返りを自分なりにレジュメにまとめておくこと（２時間程度）。

■課題とフィードバックの方法(Assignments/feedback)

課題は、毎回の授業の振り返りをレジュメに記入し提出する。フィードバックは、提出されたものにコメントを記入するか、授業時に全体に対し行う。

■授業の到達目標と評価基準(Course goals)

区分(Division)	DP区分(DP division)	内容(DP contents)
思考力・判断力・表現力	◆ 2019子ども発達DP2	現代の子育て家庭に存在する多様な問題や課題について保育者として考え、判断し、それに対応する力を身につけている。

■成績評価(Evaluation method)

筆記試験(Written exam)	実技試験(Practical exam)	レポート試験(Report exam)	授業内試験 (in-class exam)	その他(Other)
			20%	80%

授業内試験等(具体的内容)(Specific contents)

授業内課題80%

■テキスト(Textbooks)

No.(No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	授業内で必要に応じて紹介する。	
2		
3		
4		
5		

■参考図書(references books)

No.(No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	授業内で必要に応じて紹介する。	
2		
3		
4		
5		